

国際会議報告

IMPI 52 Symposium (International Microwave Power Institute) 報告



上智大学工学部物質生命理工学科 堀越 智
(Sophia University, Satoshi HORIKOSHI)
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1
e-mail: horikosi@sophia.ac.jp

2018年で52回目となる International Microwave Power Institute 国際会議 (IMPI 51) がロングビーチのヒルトンホテルで7月26~28日の期間に開催されました。IMPI シンポジウムでは招待講演も含め48件(昨年より16件増)の口頭発表が、ゆったりとした時間と場所の中で行われ、また参加費には朝食、昼食、お茶代などが含まれていることから、1日中マイクロ波の話題に漬かれる、ぜいたくな時間を過ごすことができる学会です。特に、当研究室からも3名の学生が参加しましたが、若い研究者や学生にとって、著名な研究者と時間をかけて議論することのできる場や時間が設けられているため、また必ず来たいと意見を必ず聞く学会です。JEMEAからは10名の参加があり、いずれも世界的に最先端な研究報告が行われました。筆者は実行委員も兼ねての参加であるため、会期前から様々な運営の仕事を行いました。JEMEAとは異なり実行員会の先生等の学生が運営をすることはなく、すべてホテルに任せるため、実働は実行委員全員が行います。したがって、事前の会議から打ち合わせは綿密に行われますが、広大なアメリカを横断して運営委員会が組織されているため、事前の会議はSkypeを駆使して会議を行います。当日までの会議の議題は、参加者にどう楽しんでもらうか？有益な情報を与えられるか？機器展示者に満足していただけるか？スポンサーに対しての恩恵をどのように与えられるか？などであり、これを



図1 参加者の集合写真

開催前日の行われるVIPレセプション内で会長や実行委員長の指示で最終決定されます。このような裏方の努力とスピード感が、毎回参加者を飽きさせない新鮮な会の雰囲気を持っています。

シンポジウム発表者の中からは若手賞が設けられており、今年は4名の学生が受賞しました。JEMEA同様にIMPIも様々な学術分野の研究が混在する会であるため、一概に内容だけでは選出が難しく、審査内容には研究の質に加え、プレゼンの質、受け答え、発表態度までが含まれています。受賞者は賞状と賞金(100ドル)に加え、1年間の会員費が無料になる特典が付帯され、学生にとっての思い出と大きな励みになります。また、機器展示では、説明を聞くとシートに展示者からサインをしてもらい、全展示企業のサインを応募すると、その中から抽選で1名が200ドルをもらえるイベントもあます。当選者はクロージングリマークで行われ、参加者全員が機器展示を見聞きするだけではなく、最後まで学会に残るような工夫がされています。

発表の多くは「半導体発振器」についてであり、欧米の企業に加え、中国や韓国のメーカーが企業展示を積極的に行っていました。半導体発振器を用いた研究では、世界的に先導している日本ですが、今後は産業面でのPRに力を入れる必要があると感じました。



図2 若手賞の受賞者



第53回のIMPIシンポジウムは、ラスベガスで6月18-20日に開催されます。皆様の積極的な発表・参加をよろしくお願いたします。

IMPI 53 サークュラーアドレス：

http://impi.org/wp-content/uploads/2018/09/2019_Call_for_Papers_IMPI.pdf